

狛江市 都市計画道路に関する

市民フォーラム

～狛江市における都市計画道路の現状と未来について
(市民要望の実現に向けて)～報告(概要)

狛江市における都市計画道路の整備状況、今後の整備推進についての方向性や、さらには平成27年度末に東京都と23区26市2町で策定予定である「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)(案)」との関連等について、情報提供するとともに見識を深めていただくため、市民フォーラムを実施しました。

狛江市都市計画道路に関する市民フォーラム

～狛江市における都市計画道路の現状と未来について(市民要望の実現に向けて)～

○日時 平成28年2月14日(日)午後1時00分から午後3時45分まで

○場所 防災センター401・402・403会議室

○プログラム

市長挨拶

第一部 基調講演

・有識者より基調講演

「まちづくりと都市計画道路について～あんことかわのまちづくり～」

講師：寺内 義典氏(国土舘大学工学部理工学科教授)

・東京都より基調講演

「都市計画道路整備の必要性」

講師：齊藤 俊之氏(東京都北多摩南部建設事務所長)

第二部 パネルディスカッション

テーマ「狛江市における都市計画道路の現状と未来について(市民要望の実現に向けて)」

パネリスト：寺内 義典氏(国土舘大学工学部理工学科教授)

齊藤 俊之氏(東京都北多摩南部建設事務所長)

石森 準一(狛江市参与兼都市建設部長)

小俣 和俊(狛江市都市建設部まちづくり推進課長)

○来場者 88名

当日の流れ

第一部

基調講演① 寺内 義典氏(国土舘大学工学部理工学科教授)

■説明概要・「まちづくりと都市計画道路について～あんことかわのまちづくり～」

- 1.道路ネットワークの基礎理論
- 2.あんこを守るまちづくりのすすめ
- 3.かわのまちづくりのすすめ

基調講演② 齊藤 俊之氏(東京都北多摩南部建設事務所長)

■説明概要・「都市計画道路整備の必要性」

- 1.北多摩南部建設事務所のあらまし
- 2.都市生活を支える道路整備
- 3.現状と課題
- 4.今後の展開に向けて

第二部

パネルディスカッション

テーマ「狛江市における都市計画道路の現状と未来について(市民要望の実現に向けて)」

■トークテーマ①「都市計画道路の現状」

・「狛江市における都市計画道路の現状及び課題等」

石森 準一(狛江市参与兼都市建設部長)

小俣 和俊(狛江市都市建設部まちづくり推進課長)

・「都施行の市内都市計画道路の整備状況及び生活道路との接続の考え方等について」

齊藤 俊之氏(東京都北多摩南部建設事務所長)

・「都市計画道路整備とまちづくり(沿道まちづくり)等について」

寺内 義典氏(国土舘大学工学部理工学科教授)

■トークテーマ②・「これからの道路の役割」

・「地域的に求められるこれからの道路の役割」

石森 準一(狛江市参与兼都市建設部長)

小俣 和俊(狛江市都市建設部まちづくり推進課長)

・「広域的に求められるこれからの道路の役割」

齊藤 俊之氏(東京都北多摩南部建設事務所長)

・「道路整備についての先進的な事例等」

寺内 義典氏(国土舘大学工学部理工学科教授)



内容の報告

第一部

基調講演①・「まちづくりと都市計画道路について～あんことかわのまちづくり～」

寺内 義典氏（国士舘大学理工学部理工学科教授）

- 1.道路ネットワークの基礎理論：まちの発展と都市計画道路の歴史的背景について、近隣住区論やブキャナンレポートを元にご説明頂きました。
- 2.あんこを守るまちづくりのすすめ：まちを饅頭の「かわ」と「あんこ」に例えて幹線道路と生活道路の違い等についてお話し頂きました。外周を取り巻く「かわ」は都市計画道路等の幹線道路で、その内側の「あんこ」は生活圈すなわち住宅地等の地区に例えられます。
- 3.かわのまちづくりのすすめ：今日までの日本のまちの発展について、アメリカ等と比べ、まちの発展が急激であったために幹線道路の整備が遅れていることが特徴であることを説明頂きました。また、「かわ」にあたる都市計画道路と、「あんこ」である住宅地内の狭い生活道路との機能分離や接続に関する考え方等を教示して頂きました。
- 4.交通安全対策について：「かわ」と「あんこ」それぞれの交通安全施策について、道路カルテの作成という実例を元に、地元と行政が一緒になって交通安全対策について考えることの重要性をご説明頂きました。

基調講演②・「都市計画道路整備の必要性」

齊藤 俊之氏（東京都北多摩南部建設事務所長）

- 1.北多摩南部建設事務所のあらまし：北多摩南部建設事務所について、事業内容の説明や、所管内の都市計画道路の整備事例とその効果を実例とともに紹介して頂きました。
- 2.都市生活を支える道路整備：道路整備について、まちにおける道路の機能を4項目、優先整備の考え方4項目を説明して頂きました。
- 3.現状と課題：都市計画道路の整備状況の報告や、渋滞や交通事故の現状と課題についてもお知らせ頂きました。
- 4.今後の展開に向けて：今後の展開については、策定予定である東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）（案）についてご説明頂きました。また、市民と行政との連携の必要性についてのお話も頂きました。

まとめ

第一部の基調講演では、地区計画の考え方の歴史的経緯や様々な事例の紹介も交え、まちづくりと都市計画道路整備の関連をお話頂きました。まちを饅頭にたとえ、外周をとりまく「かわ」の部分が都市計画道路であり、その内側の「あんこ」の部分が生活地区であり、それぞれが適切に整備されることによって地域の安全が確保されるとの判りやすく興味深いお話を頂きました。

また、道路整備の必要性や効果について、整備例に基づく具体的な数値や阪神淡路大震災における状況等の紹介、今後の道路整備の方向性についてお話し頂き、あらためて、道路整備の必要性について再認識させられる内容でした。

第二部

パネルディスカッション トークテーマ「都市計画道路の現状」「これからの道路の役割」

パネルディスカッションでは、基調講演の講師お二方（寺内義典氏、齊藤俊之氏）と狛江市職員二名（石森準一参与、小俣和俊課長）が参加し、市内の都市計画道路の現状とこれからの道路の役割をテーマとした議論が繰り広げられました。狛江市における都市計画道路の現状及び課題等に関しては、市内の都市計画道路整備の進捗率は約5割であることや、調布都市計画道路3・4・4号線（中和泉一丁目地区部）の整備について本来都施行である路線ですが、新みちづくりまちづくりパートナーシップ事業として市が主体的に整備したこと、さらに、都施行の調布都市計画道路3・4・18号線（狛江通り）及び調布都市計画道路3・4・17号線（松原通り）の整備進捗状況についても言及されました。

他に、市内で大規模マンションの開発での事例を受け、地区計画の検討をしていることにも触れ、そこから地区計画についての事例紹介やアドバイスも頂きました。

道路整備に当たって苦労したこととして、幹線道路の整備により生活道路が分断されたことによって交通機能と交通安全面のバランスが崩れたこと等に対する対応の事例を紹介頂きました。

その他にも、今後の広域的な道路（かわ）の役割や地区内道路（あんこ）の安全確保の方策について、ブキャナンレポートの考え方を参考に、交通機能と住環境との分離の重要性を、特に住環境保全の観点から考えられる防災面や交通安全の方策との関連等、多岐に亘るテーマについて、活発な議論が繰り広げられました。また、調布都市計画道路3・4・2号線（水道道路）の今後の整備に関して、東京都と狛江市及び行政と市民の連携の必要性や重要性に言及があり、一体的に進めるまちづくりの重要性について議論を深めました。

質問等

最後に、市民の方から質問等を頂き、講師の方や市の職員からお答えさせて頂きました。都市計画変更や地区計画に関する質問を始めとして、東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）（案）に関する質問が主とするものでした。

まとめ

第二部のパネルディスカッションでは、行政として東京都と狛江市が良好な関係の元、調布都市計画道路3・4・2号線（水道道路）の整備に向けて行動を共にしている現状や、行政と市民が一体となって、都市計画道路の整備を進めていくことに関する将来のビジョンについても言及がありました。

最後に

引き続き東京都と狛江市がこの関係を保ち、あるいはより深めつつ、市民の皆様と情報交換しながらまちづくりを推進していくことへの期待が込められ盛況に終了した市民フォーラムとなり、大変有意義な取組であったと考えております。狛江市としては、この中での様々な議論や提案、市民の皆様から頂いたご質問やご意見について、今後の道路整備やまちづくりに十分活かしてまいります。

